

武蔵野市第5期地域福祉計画

<平成30(2018)年度～平成35(2023)年度>

中間のまとめ 概要版

1. 第5期地域福祉計画の基本目標及び基本施策

- 第5期地域福祉計画では、武蔵野市第五期長期計画の重点施策である「地域リハビリテーション」を基本理念として、すべての市民が、その年齢や状態にかかわらず、住み慣れた地域で安心して生活が続けられるような取り組みを進めるため、「ひとりひとりが つながる 支え合いのまち」を基本目標に掲げます。
- 基本目標の達成に向けて地域における互助・共助力を高めていくため、5つの基本施策を推進します。

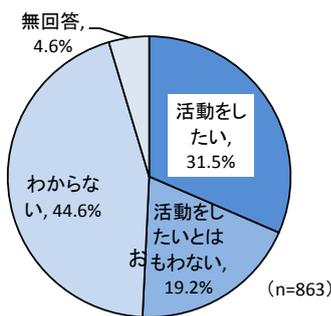
<第5期地域福祉計画の基本目標>

ひとりひとりが つながる 支え合いのまち

<5つの基本施策>

- 1 市民の主体的な地域福祉活動の促進
- 2 安心・安全な暮らしを支える自助・共助・公助の連携
- 3 生活困窮者への支援
- 4 誰もがいきいきと輝けるステージづくりの促進
- 5 サービスの担い手の確保

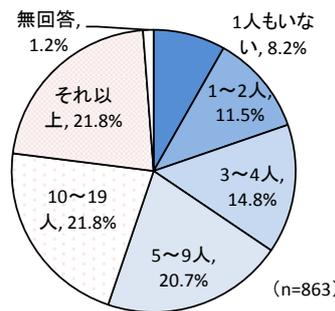
図1 地域活動・ボランティア活動参加意向



現状と課題

地域活動やボランティア活動をしていない方の中にも、「活動をしたくない」と考えている方が3割強を占めています。このような参加意欲のある方々を地域福祉活動への参加につなげるための啓発やマッチング、コーディネートを行う必要があります。

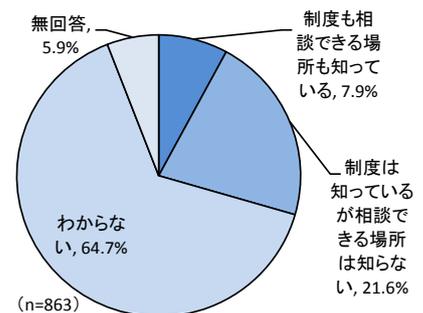
図2 地域での顔見知り人数



現状と課題

地域に顔見知りが「1人もない」「1～2人」と答えた方が全体の約2割を占めています。市民の安心・安全な暮らしを支えていくために、まちぐるみの支え合いの仕組みづくりを基に、市民が地域で孤立することなく安心して暮らしつづけられる仕組みづくりを推進します。

図3 生活困窮者自立支援制度・相談場所の認知



現状と課題

生活困窮者自立支援制度や生活困窮に関する相談場所の認知状況は、「制度も、相談できる場所も知っている」方は全体の1割弱でした。生活困窮に関する悩みや相談事ができたときに、少しでも早く必要な相談機関につなげるために、相談窓口のさらなる市民周知が必要です。

※図1～3 武蔵野市地域福祉に関するアンケート調査より

2. 第5期地域福祉計画の基本的方向性と具体的取組み

<基本的方向性と具体的取組み>

基本施策	基本的方向性	具体的取組み	
1 市民の主体的な地域福祉活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・市民主体の地域福祉活動を推進します。 ・自発的・主体的な地域福祉活動の拡大に向けて住民参加を促進します。 	1	地域社協（福祉の会）をはじめとする地域福祉関係団体への活動支援の充実
		2	新規 共同募金事業のあり方の検討
		3	市民社協等財政援助出資団体との連携強化
		4	障害者団体やボランティア団体の活動支援の充実
		5	拡充 シニア支え合いポイント制度の拡充
		6	地域福祉コーディネーター（仮称）設置の検討
		7	民生児童委員協議会、赤十字奉仕団、保護司会の活動支援の充実
		8	心のバリアフリー事業の推進
		9	ボランティア学習・福祉学習の推進
2 安心・安全な暮らしを支える自助・共助・公助の連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で孤立することなく暮らし続けられる仕組みづくりを推進します。 ・市民の安心・安全な暮らしを支えるための仕組みづくりを推進します。 ・権利擁護・成年後見制度の利用促進を図ります。 	10	地域包括ケアシステム（まちぐるみ支え合いの仕組みづくり）の推進
		11	見守り・孤立防止の強化
		12	ひとり暮らし高齢者の安心の確保
		13	拡充 安否確認及び避難支援体制づくりの推進
		14	拡充 福祉避難所の充実
		15	権利擁護事業・成年後見制度の利用の促進
		16	新規 成年後見制度利用促進基本計画策定の検討
		17	虐待防止の推進
		18	健康福祉総合計画・地域リハビリテーション推進会議による課題解決のためのネットワークの強化
		19	在宅医療・介護連携推進事業による多職種連携の強化
20	バリアフリー基本構想に基づくバリアフリー化・ユニバーサルデザイン化の推進		
3 生活困窮者への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・生活に困窮した人を早期に発見し支援するため、総合相談窓口や生活困窮者自立支援事業のさらなる周知と、必要な支援に「つながる」仕組みづくりを推進します。 ・さまざまな生活困窮の課題に対応し、生活困窮者の自立を支援できる事業の検討を進めます。 	21	生活困窮者を早期に発見し支援するための広報活動及び庁内・庁外のネットワークの充実
		22	新規 生活困窮者の経済的自立を支援する家計相談支援事業の実施の検討
		23	拡充 貧困の連鎖を防止する子どもの学習支援事業等の対象者拡充の検討
4 誰もがいきいきと輝けるステージづくりの促進	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の多様な活動意向の実現を図ります。 ・年齢や性別、障害の有無にかかわらず、社会の中で自己の役割に自信と誇りを持ち、生きがいのある充実した暮らしを送れるようなステージづくりを支援します。 	24	キャリア活用による社会貢献活動の推進
		25	様々なステージ（活動・機会）づくりの支援
5 サービスの担い手の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス供給の基盤となる人材の育成・確保を推進します。 ・担い手の確保に向けて、社会福祉法人との連携・支援の充実を図ります。 	26	新規 地域包括ケア推進人材育成センター（仮称）の設置
		27	福祉人材の確保と育成
		28	新規 社会福祉法人への連携・支援の充実

この中間のまとめについて、皆様の意見をお寄せください。

提出方法：氏名・住所を明記の上、電子メール、FAX、郵送、又は、武蔵野市地域支援課に直接持参にて提出。
お電話ではお受けできません。

募集期間：12月1日（金曜日）から12月22日（金曜日）まで（必着）

- 住所：〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28 健康福祉部地域支援課宛
- FAX：0422-51-9218 健康福祉部地域支援課宛
- 電子メール：sec-chiiki@city.musashino.lg.jp